

◆ 在宅生活の継続が困難になるのは、身体介護量(特に排泄ケア)が増大する「要介護3以上」と考えられていることから、要介護3以上の認定者の居所(在宅、施設など)をサービス利用割合から分析することにより、地域のケアバランスの特性を把握することができます。

認定者における各サービス利用比率(ケアバランス)(要介護3以上・市区町単位)  
平成24(2012).3⇒平成26(2014).3

2012.3データ: H26.2広島県地域包括ケア資源調査報告書  
2014.3データ: 広島県EMITAS-Gシステム

■ 在宅サービス(右記ショートステイを除く) ■ ショートステイ15日以上 ■ 施設、居住系サービス ■ 入院 ■ その他

